氏名	大岡 華子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	社会福祉学				
学位	修士（福祉社会）				
学歴	2002年3月 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業 2004年3月 法政大学大学院人間社会研究科福祉社会学専攻（修士課程）修了 2017年3月 日本女子大学人間社会研究科社会福祉学専攻（博士後期課程） 単位取得満期退学				
経歴	2012年10月～ 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教 2021年4月～ 准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会・福祉社会学会・日本社会政策学会・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会・貧困研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) (一般)	東京市部のホームレスの実態と支援施策に関する実証的研究		研究代表者	2024.4～2025.3	
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) (一般)	「貧困者の<声>の政治に関する研究―「全国生活と健康を守る会」の歴史的検討を通して」		研究分担者	2024.4～2025.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	公的扶助論	○	15	生活保護制度だけでなく、生活困窮者の生活課題や社会保障制度などについてもわかりやすく説明を行った。時々映像や新聞記事などを使用し、なるべく最新の情報を伝えられるように心がけた。制度改正や新しい制度についても行政等のパンフレットも用いて、実習等でも活用できるように工夫した。開放授業講座（リカレント）として3名の受講生を受け入れた。		
2	ソーシャルワークの理論と方法II	○	15	ソーシャルワーク実践の基盤となるソーシャルワーク理論、ソーシャルワークを具体的に展開するために不可欠な実践モデルとアプローチ、実践を豊かに展開する為の、グループワーク、コミュニティワーク、ソーシャルアドミニストレーション、ソーシャルアクションについて講義を行った。時々映像や新聞記事などを使用し、なるべく最新の情報を伝えられるように心がけた。行政等のパンフレットも用いて、実習等でも活用できるように工夫した。卒業生を招き、よりソーシャルワークが私たちの生活に身近なものとして理解できるように心がけた。開放授業講座（リカレント）として1名の受講生を受け入れた。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習		15	初年次導入科目であることから、レポートの書き方等大学での学ぶための基礎的な力を演習を通して身につけられるように工夫をした。
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○	15	ヒューマンケア体験実習での学びを踏まえた上で、ソーシャルワーカーとしての基礎的な援助技術を身につけられるよう工夫をした。
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	履修者3名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な基礎的な技術を指導するとともに、障害や地域福祉や貧困をテーマに文献の輪読・ディスカッションを行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	履修者2名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な基礎的な技術を指導するとともに、貧困や地域福祉をテーマに文献の輪読・ディスカッションを行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	履修者3名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な技術を指導するとともに、地域通貨や町内会や孤立や子どもの貧困をテーマに文献の輪読等を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	履修者3名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な技術を指導するとともに、地域通貨や町内会や孤立や子どもの貧困に関わる論文指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	○	15コマ	ソーシャルワーク実習Ⅰの事後指導、ソーシャルワーク実習Ⅱの実習中指導・事後指導で丁寧にグループで振り返り等をするとともに、ソーシャルワーク実習Ⅲに向けて、個人票や実習課題の添削、事前学習の指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ	○	2024.4-2024.6	発達支援センターや特別養護老人ホームや障害者施設で実習を行う学生の指導を行った。
3	ソーシャルワーク実習Ⅱ	○	2024.8-2024.10	児童相談所や地域包括支援センター等相談機関や障害者・高齢者施設で実習を行う学生の指導を行った。
4	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	○	後期15コマ	ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの事後指導として、グループ学習の指導、報告書作成や報告会にむけての指導を行った。
5	IPW実習	○	2024.4-2025.3	2020度より学科の科目担当者として実習を担当している。本年度は対面での実施となった。2024年度は、学生担当リーダーの役割を担当し、他の教員と手引きの作成、研修や報告会の運営を行った。対面で実習が円滑に実施できるように、学生、実習施設、教員（他大学の教員含む）、教務担当とこまめに連絡や調整を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	3名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県生活困窮者自立支援制度新任者研修	埼玉県	相談支援プロセスの概要・事例検討	2024.4

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	目黒区	障害支援区分審査会 委員	2024.4～2025.3	
2	越谷市	越谷市都市計画審査会 委員	2024.4～2025.3	
3	越谷市	空家等対策協議会 委員	2024.4～2025.3	
4	川口市	社会福祉審議会 地域福祉専門分科会委員	2024.4～2025.3	
5	世田谷区立砧工房	虐待防止委員会 虐待防止アドバイザー	2024.4～2025.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク	学習支援活動の調整・助言	2024.4～2025.3
2	地域貢献活動	駿台学園高等学校	分野別進路ガイダンス	2024.10.
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント等防止対策委員会 相談員		2024.4～2025.3
2	学科等における委員会等	1年次学年担当		2024.4～2025.3
3	大学広報活動	オープンキャンパスで個別相談を担当した		2024.8
4	該当なし	埼玉県立大学社会福祉士実習指導者講習会 実習プログラミング論 担当		2024.6
5	該当なし	社会福祉士国家試験対策講座「貧困に対する支援」「最近の社会福祉制度改正～社会福祉法と地域福祉分野を中心に」を担当		2025.1
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			